

市長会見の項目（概要）

と き：令和4年4月7日（木） 14：00～

ところ：市政記者室

■ 大阪市立の各小学校の全児童へ子ども環境情報紙「エコチル」を配布します

＜担当：環境局環境施策部環境施策課 電話：06-6630-3209＞ 【フリップあり】

- ◆ 大阪市は、SDGs 達成に貢献する環境先進都市をめざし、経済・社会・環境の統合的向上や、すべてのステークホルダーの参画・連携など SDGs の考え方を取り入れた、さまざまな環境施策を進めている。
- ◆ 地球温暖化対策、生物多様性保全や資源循環などの環境施策を推進し、持続可能な社会を実現していくには、次の時代を担う子どもたちへの環境教育は大変重要である。
- ◆ この度、大阪市は、令和4年4月7日（木曜日）に環境プロモーション事業を展開する株式会社アドバコム（本社：札幌市）と「環境教育・啓発の推進に関する連携協定」を締結する。
- ◆ 株式会社アドバコムは、「子どもたちに、もっと環境に関心をもってもらえる機会をつくろう」などの思いから、子ども環境・SDGs 教育情報紙「エコチル」を、平成18年に北海道札幌市で創刊され、現在、毎月95万部を発行し東京23区、横浜市、長野県佐久地域や北海道全市町村の公立小学校、札幌市立の中学校・高等学校などへ配布している。
- ◆ 本市との協定に基づき、株式会社アドバコムが有する知識とノウハウを活用し、大阪市の環境施策など様々な環境に関する情報を掲載した「エコチル」大阪版（B版タブロイド）を新たに発行していただく。
- ◆ 西日本の自治体では初めての発行となる、「エコチル」大阪版は、令和4年4月の創刊号から毎月（夏休みの8月を除く）発行され、大阪市立の小学校（282校）の全児童に配布する。（発行部数121,149部/月）
- ◆ 創刊号では、地球温暖化対策で注目されている再生可能エネルギーに関する情報として、夢洲のメガソーラーや長居配水場の小水力発電など本市の再生可能エネルギーの導入事例や再生可能エネルギーの利用拡大に向けた太陽光パネル等共同購入支援などの取組みを紹介している。
- ◆ 子どもたちには、身近な環境問題に気づき、家族や友だちと環境について話し合い、環境を大切に思う心と、環境問題を考える力を育ててもらいたい。
- ◆ この取組を通じて、学校や家庭など日常生活の中でエコライフの浸透を図り、環境先進都市「大阪」をめざしていく。